

パラリンピックに向けた 障がい者スポーツ指導者研修

NPO 法人 スマイルクラブ
〒277-0858 千葉県柏市豊上町 23-29

助成事業の概要

1 実施目的

今回の研修では、日本の先駆的モデルとしていくために、日本や世界を代表するパラリンピアンズや障がい者スポーツの指導者に講演を依頼し、進めていきたいと考える。

2 期間 2018年4月～2019年3月までの期間で8回（1回2時間程度）

3 場所 柏市内の会場（つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅横のKOIL）を予定。

4 内容（テーマ、講師）

障がい者スポーツに携わる指導者や研究者、あるいはパラリンピックを目指す選手など、日本や世界で活躍する講師を、幅広く招聘しおこなう。例えば、筑波大学 澤江幸則先生や2020年の新しいパラリンピック種目に採用され、パラバドミントンチャンピオンである長島理先生などを招き、研修会を開催。※詳細は下記成果参照

5 案内チラシ（1,000枚）および報告書の作成（ダイジェスト版、テキスト版各200冊）

事業の成果

今回の研修により、2020東京オリンピック・パラリンピックや障がい者への理解が促進され、下記成果となった。

1 実施内容

- 1) 9月20日 筑波大学 澤江幸則先生
「発達障がい児のある人の運動特性と支

援」20名

- 2) 9月27日 日本サッカー協会 山口隆文先生 「サッカー指導法」15名
- 3) 10月11日 順天堂大学 飯嶋正博先生 「障がい者スポーツ指導法1」14名
- 4) 10月26日 国際武道大学 中島一郎先生 「障がい者スポーツ指導法2」15名
- 5) 10月31日 順天堂大学 中山久子先生 「アダプテッドスポーツ」12名
- 6) 11月6日 パラバドミントンチャンピオン 長島理先生 「車いすバドミントン」14名
- 7) 11月8日 コミュニケーションズかしわ伊丹文子先生 「手話をやってみよう」17名
- 8) 11月27日 Wheelog 代表 織田友理子先生 「バリアフリーマップ」15名 参加者計121名

2 報告書の作成と配布

- 1) その1（ダイジェスト版）の作成（200冊）
- 2) その2（テキスト版 発表資料すべて）の作成（200冊）

上記報告書を作成し、参加者すべてに配布、また、報告書希望者には別途配布予定

3 本研修による資質の向上について

- 1) パラリンピックや障がい者スポーツに携わるボランティアや指導者の資質向上
この研修に参加したスタッフから、2020

東京オリンピック・パラリンピックのボランティア募集へ1名登録でき、今後面接等を経て、実際のボランティアへつなげる予定である。

2) パラリンピックや障がい者スポーツの環境整備

上記ボランティアや指導者の資質向上により、障がい者スポーツへの受皿の充実が期待できる。

3 障がい者スポーツボランティアや指導者の増加期待

この事業をきっかけに、ボランティアや指導者への希望が増えることが期待できる。

4 日本のパラリンピックや障がい者スポーツのボランティア及び指導者の養成モデルの構築

この事業が先駆的であるがゆえに、これからの日本の養成モデルの一つとして期待できる。

5 パラリンピックや障がい者スポーツの環境整備のきっかけ

上記モデルをきっかけに、2020年東京パラリンピックに向けての盛り上げていく環境ができる。

今回の事業をまとめたダイジェスト版（報告書その1）と研修時に使用した各講師資料の報告書（その2 テキスト）の2種類を作成し、関係者へ配布した。

今後の展開

すでに、貴財団より2019年度の内定をいただいているが、スマイルクラブでは高齢者も障がい者も笑顔で過ごせる街「スマイルタウン」を目標に活動しており、今回の研修（2018年度）をさらに発展させ、“高齢者と障がい者の地域共生型福祉「富山モデル」研修”へと発展させ、スマイルタウン実現に向けて邁進したいと考える。

成果の広報、公表

本事業推進のために下記内容について広報した。

1 案内チラシの作成

本研修会をおこなうにあたり参加者を募集するために、別紙チラシを作成し、本事業の案内をおこなった。

2 ホームページへの掲載

各研修会終了時に、スマイルクラブのホームページへ掲載しました。全8回すべてを掲載。スマイルクラブホームページアドレス→
<http://smile-club-npo.jp/>

3 報告書の作成と配布